

平成 25 年度 NBC 冠講座「起業と事業創造」(2年生) 開講報告

本学では、社団法人東京ニュービジネス協議会(NBC)との包括提携に基づく共同事業推進の一環として、科目の共同運営を行っています。平成 25 年度は、2 年生対象の「起業と事業創造」を後期月曜日の 4 限に開講し、NBC より 5 人の経営者を特別講師としてお招きしました。

I. 概要および講義の様子

| | | |
|---|--------|--|
| ① | 9月30日 | オリエンテーション、 ★履修意識調査(受講前)によるアンケート実施 |
| ② | 10月7日 | 講義:「起業家の基本特性」「起業の現状」「課題レポートの書き方について」 |
| ③ | 10月14日 | 講義:「起業家の基本特性②」「起業の領域」 |
| ④ | 10月21日 | ◎花厨 ~HANA-OUGI~ 代表 川久保 紀子 氏(本学卒業生) 講義テーマ『大学2年生でいきなり起業』受講者 105 名 |
| ⑤ | 10月28日 | 講義:「有望新規事業領域の探索方法」 |
| ⑥ | 11月4日 | ◎有限会社アースライト 代表取締役 岡本 貴士 氏 講義テーマ『20代からの起業、そして多店舗展開へ』受講生 110 名 |
| ⑦ | 11月11日 | 講義:「有望新規事業領域の探索方法②」「事業発展と経営課題」 |
| ⑧ | 11月18日 | ◎株式会社コスモピア 代表取締役 田子 みどり 氏 講義テーマ『事業創造と雇用責任・学生起業家の草分けとして…』受講生 108 名 |
| ⑨ | 11月25日 | 講義:「起業アイデアと事業コンセプト」「お金の観点から見た事業展開」 |
| ⑩ | 12月2日 | ◎株式会社JPホールディングス 代表取締役 山口 洋氏 講義テーマ『サラリーマンからの起業、そして上場企業へ』受講生 109 名 |
| ⑪ | 12月9日 | 講義:「IPOを目指すということ」「ビジネスプランの作成方法」 |
| ⑫ | 12月16日 | ◎株式会社シェイプアップハウス 代表取締役 下村 朱美氏 講義テーマ『起業と事業創造、そして国際展開へ』受講生 105 名 |
| ⑬ | 12月23日 | 講義:「ビジネスプランの作成方法②」「利益思考と利益志向」 ★履修意識調査(受講後)によるアンケート実施 |
| ⑭ | 1月20日 | テスト |

10月21日 花厨~HANA-OUGI~ 代表 川久保紀子氏

講義テーマ『大学2年生でいきなり起業』

川久保さんは、本学経営学部第二期の卒業生で、経営学部在学中に起業し、高崎で花屋を開業しています。それまで、全く経験のなかった花屋で起業した川久保さん。現在は生花業経営の他、フラワースクールの主催なども務められています。講義では、「なぜ職業経験のない花屋で起業しようと思ったのか?」「どのようにして実現したのか?」等の他、学生時代に抱いていた起業への意識なども語っていただきました。学生からの「片道3時間の通学、学業、アルバイト、花屋の経営とどうやって時間をやりくりしていたんですか?」という率直な質問に、「とにかく足りない分は睡眠時間を削って(笑)きつそうに思えるかもしれないけれど、自分の店だから決して苦にはならない。」と答えて下さいました。学生は、当初は大学2年生で起業した先輩の存在にとても驚いていた様子でしたが、顧客の信頼を勝ち取りながら地域密着型で展開していった起業ストーリーに熱心に聞き入っていました。



11月4日 有限会社アースライト 代表取締役 岡本貴士氏 講義テーマ『20代からの起業、そして多店舗展開へ』

岡本社長には、23年度にも本講義でご登壇いただいています。岡本社長は、大手学習塾でアルバイトしていた時に、「学習塾は規模が大きくなれば高い合格実績を求めるようになる。それは学力の高い子供と経済的に恵まれている子供のための教育ではないのだろうか?」という疑問を持ち、地域教育の向上を職とすることを決意。2003年大学在学中の21歳で起業し、学習塾クリップアカデミーグループを運営しています。現在は江戸川区を中心に12教室を展開中です。講義では、学生起業家としての起業体験に加え、多店舗展開についてもお話いただきました。明るく軽妙に起業に至るまでのストーリーを語る一方で、現在の多店舗展開においては組織作りに苦勞されている様子まで表裏なくお話しいただく様子に、学生たちからは沢山の質問が寄せられました。最後には「努力とはやる気。やる気の源は自信。自信は自分の可能性を信じること。ただ待っているだけではだめで、自分の可能性を高める創意工夫をするとやる気は湧いてくる。」と学生たちにエールを送って下さいました。

11月18日 株式会社コスモピア 代表取締役 田子みどり氏 講義テーマ『事業創造と雇用責任・学生起業家の草分けとして…』

田子社長は、日本の学生ベンチャーの先駆けとも言うべき女性です。株式会社コスモピアが産声をあげたのは、80年代前半、会社設立からちょうど30年目を迎えられました。当時の日本は、科学技術立国としての優位性を世界に知らしめようとした時代。その一方で、男女雇用機会均等法の施行前ということで、女性の就職先はかなり限られていた時代でした。



<教室の様子>



職先はかなり限られていた時代でした。田子社長は、次々に登場する最先端の科学技術にふれ、その可能性に感動するとともに、女性の感性を活かせば、一般の人たちにもっとわかりやすくやさしく伝えられるのではないかと考え、それを女性の職域拡大と継続的な就業支援につなげたいと願い、学生ベンチャー企業としてスタートしました。学生からは、「同世代の仲間と起業した時にいきなり社長になるというのはどんな感じだったんですか?」などというような質問が寄せられました。「長」のつく仕事というのにはそれほど気負いはなく、自然体でやっていたけれど、仲間内の長と社長では責任が違ったから、社長としてのスキルがなかったことが辛かった。」と田子氏は当時の様子を率直に語って下さいました。これから起業を目指す学生には「起業するときには一番重要なことは“志”。志をしっかり持って誠実に“人”、“物”、“金”を用いて会社を運営することが原点。」という熱いメッセージを送って下さいました。

12月2日 株式会社JPホールディングス 代表取締役 山口洋氏 講義テーマ『サラリーマンからの起業、そして上場企業へ』

JPホールディングスは、子育て支援事業、給食の請負事業、英語・体操・リトミック教室・研修請負事業、物品販売事業、研究・研修・コンサルティング事業を展開している企業です。同社事業の一つとしてある、子育て支援事業。良質な保育を提供するために必要な専門知識を習得できるよう、職員向けの研修を実施するほか、労働時間を減らすために日曜日や夕方の時間帯に保育を行わない事業者の現状を嘆き、それを払拭していく使命感を自身のエネルギーとされています。間接的に利用者の喜びを耳にする時、そこに職員の懸命な働きを感じるのだという山口社長。上場という当初の目標を果たした今、事業を通して日本の保育を変えていくことに喜びを得るといふ、次なる目標に向かっていらっやいます。講義では、起業当初に手がけていたオフィスコピーサービス事業をどのように展開していったのかを詳細に語っていただきました。起業をするからには、必ず上場をする決めていた山口氏。当時は、上場には売上高25億円、経常利益が3億が必要だったため、この目標を達成するために幾度となる困難の壁を何度も何度も打ち壊しながら事業を拡大していきました。その後、保育が抱える課題、自社の女性社員が自分の子供を安心して預けられる夜間や日曜日も開園している保育園が非常に少ないという現状をきっかけに、自社の福利厚生の一環として始めた保育事業を同社の本業へと転換していきました。通信講座で保育士の勉強を始め、大学院でも専門的な勉強をされた山口社長。当時は株式会社の保育事業参入が認められておらず、社長自身が、内閣府や厚生労働省など様々な行政の委員を務めながら、ようやく2001年からは株式会社も保育事業へ参入できるようになり、今まさに保育事業を拡大展開して行っています。非常に高いハードルを越えながら事業を展開して行く様子に学生は驚きを隠せない様子でした。



12月16日 株式会社シェイプアップハウス 代表取締役 下村朱美氏 講義テーマ『起業と事業創造、そして国際展開へ』

下村社長には、22年度にも本講義でご登壇いただいています。シェイプアップハウスは、1984年に設立。エステティックサロン経営の最前線であるサロン営業部からエステティックに関する本格的な教育機関の運営などを手がけるスクール事務局、また、1986年に営業を開始した日本で最初の男性専用エステティックサロン「ダンディハウス」など、様々な事業を展開しています。下村社長は我が国を代表する女性起業家の一人です。今回は、翌日に自ら代表を務められる2013ミス・インターナショナル世界大会の本番を控え、非常にご多忙な中にもかかわらず、ご登壇いただきました。講義では、シェイプアップハウスの国際展開についてお話いただきました。同社は2008年には香港、2010年には上海、2013年にはシンガポールへ進出しています。理論がわかるエステサロンを作りたいという信念のもとに事業を展開されてきた下村社長は、エステサロンの経営の他、確かな技術を持つエステティシャンを養成する専門学校の運営、エステティシャンの地位の向上と業界の発展を担うNPO法人ソワン・エステティック協会の設立、すべての職業における資格制度の環太平洋における標準化を推進するIPSNの加盟にもご尽力されています。ご自身の留学体験、事業の海外展開、ミス・インターナショナルなどのお話などを通して、早くから海外に目を向けて異国の文化を理解していくことの重要性を学生に語っていただきました。世界を舞台に事業を展開する下村社長の講義は、学生に大きな刺激を与えて下さいました。

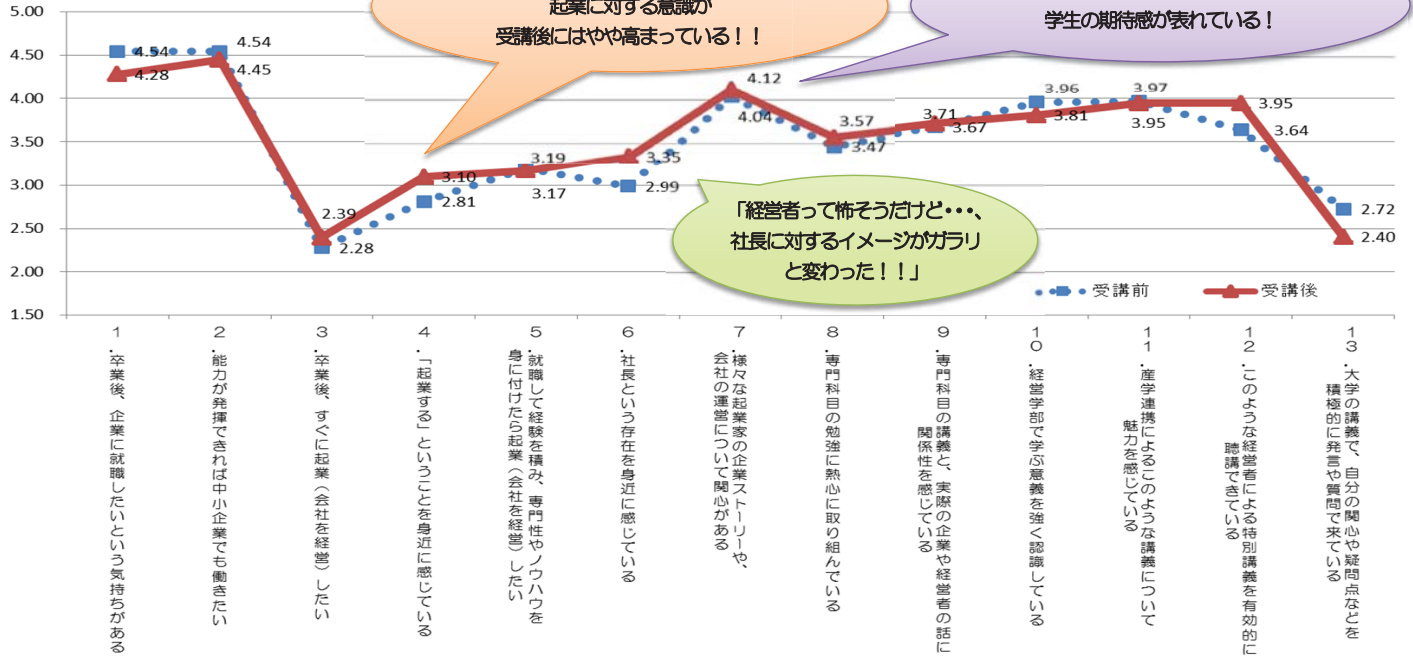


II. 平成25年度の履修者の起業意識、学習意欲の推移

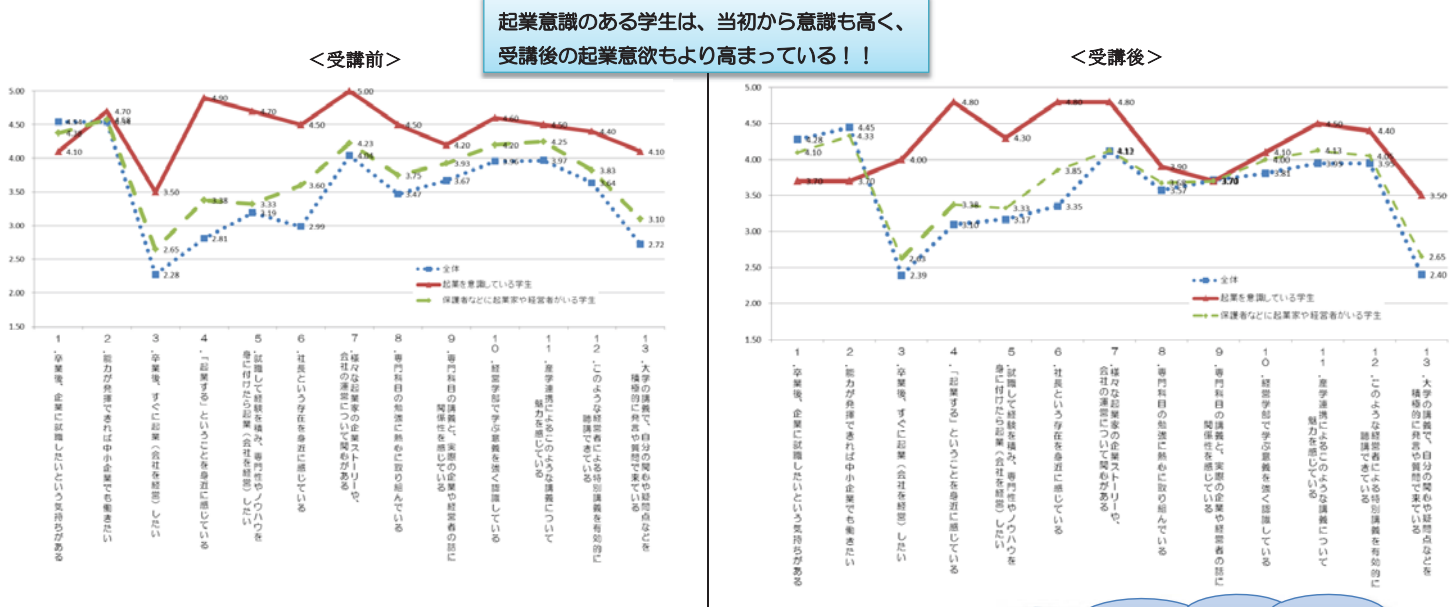
下記のグラフは、本講座の受講前・受講後の2回にわたって行われた全てのアンケートに回答した94名の履修学生の平均値の推移をグラフ化したものです。

※全ての質問に対し、「5. そう思う」「4. ややそう思う」「3. どちらともいえない」「2. あまりそう思わない」「1. そう思わない」の5点尺度で回答したものを集計してあります。

(1) 全体の平均値の推移——有効回答：94名



(2) 特徴ごとに見る平均値の推移——有効回答 全体：94名、起業を意欲している学生：10名、保護者等に起業家や経営者がいる学生：40名



(3) 男女別の平均値の推移——有効回答 男：55名、女：39名

